



学校だより

令和7年2月25日

東京都立石神井特別支援学校
校長 中島 由美子

三寒四温の季節、卒業や進級に向けての期待と不安感からも体調管理の難しい時期です。皆様、元気に乗り越えていけるよう引き続き御協力をお願いいたします。

人生100年時代と言われますが、生涯にわたって幸福に生きる一助として、読書はその一役を担う活動になると思います。

『読書バリアフリー法』の施行、学習指導要領においては、言語活動の充実及び学校図書館を利用した児童・生徒の自主的、自発的な学習活動・読書活動の充実が求められているところです。

「としょしつだより」でお伝えしてきましたが、本校の図書室には約700冊の図書とわいわい文庫（861作品のデイジー図書）が集められています。図書室の前には、「おすすめの本の紹介コーナー」があり、子どもたちが読んだ本の紹介やイラストが掲示され、ひときわ彩を添えています。本校の児童・生徒の読書活動の推進のため、PTA 図書サポートの皆様にも図書室整備などに御協力をいただき感謝申し上げます。



また、今年度初の試みとして12月から2月には南大泉図書館の方を講師にお迎えし、学年・グループごとに読み聞かせ会を行いました。子どもたちは、図書の専門家の方がお話しする季節感のある絵本や馴染みのパネルシアター、エプロンシアターなどの世界に楽しく引き込まれました。まずは目の前の図書を手にしてページをめくってみる、その中でナンバーワンのお気に入りが見つかるとういと思います。今後も学校全体で読書活動に丁寧に取り組んでいきます。

次年度の教育活動についての構想をお伝えする時期となりました。お寄せいただいた学校評価アンケートから今年度の成果を継続させつつ、「一人一人が可能性を十分に広げ、地域に根ざした生活の中で、自立的な社会参加を目指す」教育に取り組んでいきます。

『教育振興基本計画』（文科省）に掲げられている「ウェルビーイング」（身体的・精神的・社会的に幸福な状態であること）の視点で各個人が自己肯定感を高め、生きがいをもち、生涯にわたって豊かに生きることを本校の教育においても大切にしていきます。

学ぶことを楽しみ、自らできたことを喜び、達成感や自信をもって新たなことにチャレンジする意欲を持つ子どもの姿をたくさん引き出していきたくと思います。そのためには実際にやってみることで、その道を極めた方や本物から学ぶことなど、より具体的な感動体験を積み重ね、実感を伴った確かな力を育てていくことを基軸に教育活動を設定していきます。

また、教育活動の充実を図るための教職員の働き方改革を推進していきます。次年度に向けた主な行事予定（別紙）も御覧いただけますようお願いいたします。

■小学部 6年 修学旅行

1月31日(金)に西武園うえんちへ行ってきました。天気にも恵まれて、とても過ごしやすい日でした。レストラン『黄昏号』で食事をした際は、豪華列車のような雰囲気にみんな驚いたり、感激したりしていました。美味しいごはんを食べた後は、お土産を買いに昭和レトロの商店街へ行きました。それぞれお目当てのお菓子や雑貨等を購入する際、店員とのやり取りにも大分慣れて、戸惑うことなくスムーズに支払いし、買い物をすることができました。これまでの学習の成果を発揮することができてとても立派でした。買い物の後は、メリーゴーラウンドに乗りました。自分の好きな動物や馬車に乗り、楽しんでいました。一日学年で過ごし楽しい思い出を作ることができました。

(小学部 6年 福永 紗代)



■中学部 3年 一日校外活動

2月14日(金)サンシャイン水族館へ一日校外活動に行ってきました。当日は気持ちの良い晴天で、過ごしやすい一日でした。

サンシャイン水族館では、「天空の旅」「水辺の旅」「大海の旅」を周り、たくさんの生物を観ることができました。特に「天空の旅」では、頭上にある水槽に泳ぐケープペンギンを見上げ「ペンギンが空を飛んでいるみたいだね」と感動していました。普段見ることのないたくさんの生物に、生徒たちは心を奪われて楽しく過ごすことができました。昼食は東池袋の「ジョナサン」へ行き、事前に選んでいた「ハンバーグ」や「チキンステーキ」を食べました。生徒たちは「おいしいね」と言いながらあっという間に完食しました。

帰りは公共交通機関を利用しました。電車とバスの道中、乗車ルールを守りながら学校まで帰ってくることができました。様々な場所でのルールを守って楽しむことができ、充実した中学部3年生の一日校外活動となりました。

(中学部 3年 松田 綾乃)

